



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査し、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012/12/7～2018/11/30にご同意いただいた方

【研究課題名】 精神・神経疾患に関わるGタンパク質共役型受容体リガンドの同定

【研究責任者】 大日方 英（群馬大学 未来先端研究機構）

【本研究の目的及び意義】

本研究では、脳に特異的に発現する機能不明のGタンパク質共役型受容体を対象として、精神・神経疾患患者由来血漿中に存在する活性化物質（リガンド）の探索を行う。新たなリガンドや受容体機能が明らかになることにより、精神・神経疾患の病態形成への関与の解明、および診断用バイオマーカーあるいは創薬ターゲットとしての臨床応用が期待される。

【本研究に提供している試料・情報】

血液

【問い合わせ窓口】

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)